

フサイン・ナシーム（モルディブ）



はじめまして。私は、モルディブの国家災害管理庁（NDMA）で上級行政官として働いている、フサイン・ナシームと申します。

私は高校卒業後モルディブ国立大学に入学し、2020年にマーケティングを専攻して観光管理の学士号を取得しました。その後、2023年にヴィラ・カレッジで経営学修士号を取得することができました。

地理的には、モルディブは多くの島々からなる国であるため、災害管理、備え、リスク軽減の基本原則を理解することが重要だと考えています。モルディブでは風水害が頻発していることから、これらの分野についてもっと学び、リスクを軽減するための重要な原則や行動を正しく理解したいと思うようになりました。

NDMAでの業務としましては、モルディブ赤新月社（MRC）と共にモルディブの様々な島を訪問し、特定の島のハザード、脆弱性、防災力を把握することや、災害が発生した場合の備えや行動をするためのコミュニティ緊急対応チームを設置するなどを行いながら、モルディブのリスクプロファイルを行うコミュニティ活動を行ってきました。

コミュニティ防災やレジリエンス計画の強化と地域社会の備え強化（ERCP）プロジェクトに関与することで、災害を多く経験している日本のような国において、コミュニティの実践、災害への備え、リスク軽減戦略についてもっと学びたいという情熱が生まれました。残念ながら、モルディブでは、コミュニティ防災の重要性を理解する研究は限られています。そのため、客員研究員（VR）プログラムは、災害の中で適応してきた優れた方法や成功したアプローチを理解するのに役立つと思います。

アジア防災研究センター（ADRC）のVRプログラムへの参加の機会を頂き、災害への備えやコミュニティの実践に関する知識を深めることができると考えています。得られた知識や経験は、きっとモルディブでの私の現在の職務に大いに役立つことでしょう。